# KYSE-150

305087

□要

□明

KYSE-150□胞株は、成人患者から切除された原発巣に由来するヒト食道扁平上皮癌（ ESCC）モデルである。この□胞株はKYSEシリーズの一つであり、食道癌の病態生物学、特に腫瘍形成と治療反応を理解するための信頼性の高い in vitroモデルを提供するために開発された。 KYSE-150□胞は13.7時間という急速な倍加時間を示し、攻撃的な癌表現型の特徴である高い増殖能を示す。これらの □胞は単層培養で増殖し、上皮由来のがん □胞に典型的な、基質に接着して均一なシートを形成する。

KYSE-150の遺伝学的解析から、主要な癌抑制遺伝子、特に p16（INK4a）遺伝子に著しい変化があることが明らかになった。この □胞株はp16遺伝子に異常を示し、特にCpGアイランドメチル化という形で遺伝子をサイレンシングし、 □胞周期制御の喪失に寄与している。このエピジェネティックな修飾は、多くのがんに共通するメカニズムであり、KYSE-150が遺伝子サイレンシングとがん進行におけるその役割を研究する上で重要であることを強調している。さらに、この □胞株はp15遺伝子の野生型を保持していることから、このモデルではp15よりもp16が選択的に不活性化されるメカニズムが示唆され、比較ゲノム研究において興味深い。

KYSE-150は、ESCCの分子および□胞メカニズムを研究するのに有用であるだけでなく、がんにおける遺伝的およびエピジェネティックな変化の影響を調べるのにも有用である。 KYSE-150は食道扁平上皮癌において調節異常となる特定の経路を標的とした治療的介入を研究するための強固なモデルとなる。 KYSE-150は、その高い増殖率と特異的な遺伝子プロファイルから、in vitroでの薬理学的試験やがん研究に関連するその他の用途に適した候補であるが、治療や in vivoの目的には適していない。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 食道 |
| 病気 | 食道扁平上皮癌 |

同義語

- KYSE 150
- KYSE150
- Kyse150
- KY150

## 分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 女性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| バイオセーフティレベル | 1 |

## 特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮 |
| 倍増時間 | 25時間 |

## 識別子

引用

KYSE-150（Cytion カタログ番号 305087）

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_1348 |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

## 取り扱いと飼育

### 培地

Ham's F12とRPMI1640を50:50の割合で混合してください（サイシオン論文番号 820600aと820702a）。

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃ ˊ 5%CO2、加湿雰囲気。 |

### サプリメント

培地に5% FBSを添加する

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | アキュターゼ |

### 継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ˊ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ˊ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

| | |
|---|---|
| 流体の更新 | 週2～3回 |

### 解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

### 無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

### 保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

### 配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 49年 |
| 民族 | アジア |

## 法務・安全

### 安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

### 保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB